

## 廿日市市公営企業（簡易水道事業）中期経営計画の達成状況について

簡易水道事業の健全経営に向けて、平成24年度から平成27年度までの運営施策に関する方針と事業運営の目標を定めた『廿日市市公営企業（簡易水道事業）中期経営計画』について、平成24年度の達成状況を次のとおり公表します。

### 1 業務量

区 分	平成24年度実績	平成23年度実績
給水戸数	4,899戸	4,882戸
給水人口	10,400人	10,550人
普及率	78.9%	78.2%
年間総給水量	1,768,789 <sup>m</sup> <sub>3</sub>	1,805,894 <sup>m</sup> <sub>3</sub>
一日平均給水量	4,846 <sup>m</sup> <sub>3</sub>	4,934 <sup>m</sup> <sub>3</sub>
一日最大給水量	6,794 <sup>m</sup> <sub>3</sub>	7,464 <sup>m</sup> <sub>3</sub>
年間有収水量	1,453,401 <sup>m</sup> <sub>3</sub>	1,421,791 <sup>m</sup> <sub>3</sub>

### 2 財務状況（中期財政計画との比較）

歳入及び歳出（税込み）

（単位 百万円）

区 分	平成24年度			平成23年度 決算額	
	計画額	決算額	差し引き 増減額		
歳 入	水道料金	276	292	16	278
	国庫補助金	200	174	△26	144
	簡易水道事業債	436	380	△56	290
	繰入金（基準内）	126	123	△3	117
	その他の収入	102	51	△51	73
	合計①	1,140	1,020	△120	902
歳 出	職員給与費	31	30	△1	30
	（うち施設管理）	(0)	(0)	(0)	(0)
	維持管理費	178	160	△18	167
	（うち受水費）	(65)	(64)	(△1)	(65)
	整備事業費	39	26	△13	24
	新設改良費	628	545	△83	457
	公債費（元金）	160	160	0	125
	公債費（利息）	73	71	△2	72
	その他	31	28	△3	27
合計②	1,140	1,020	△120	902	

収支（歳入①－歳出②）	0	0	0	0
一般会計繰入金（基準外）	89	33	△56	43
（うち辺地・過疎債分）	(36)	(30)	(△6)	(25)

### 3 企業債残高

(単位 百万円)

区 分	平成24年度			平成23年度 決算額
	計画額	決算額	差し引き 増減額	
年度末の残高	3,222	3,571	349	3,351

※企業債残高は、簡易水道事業債（特別会計分）を掲載

### 4 中期指標の達成状況

#### (1) 平成24年度決算

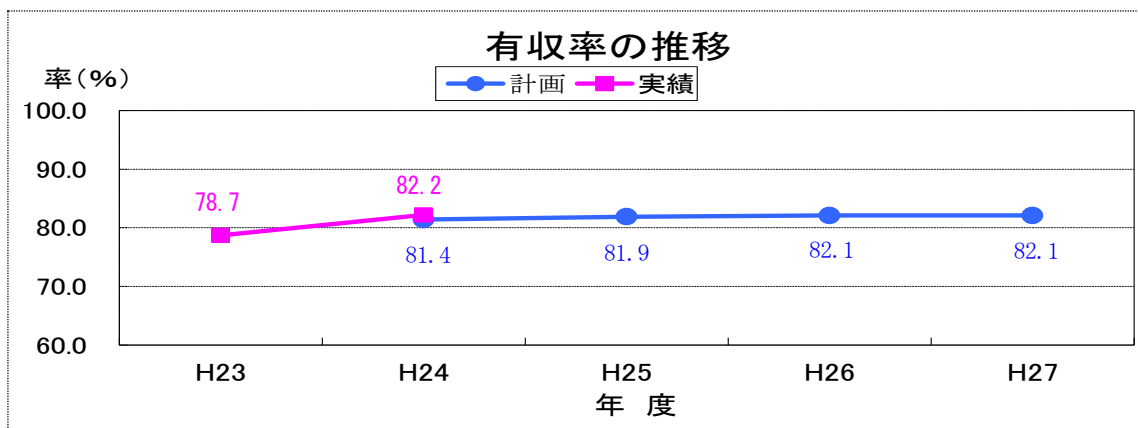
区 分	平成24年度			平成23年度 決算
	計 画	決 算	差し引き 増 減	
有収率 (%)	81.4	82.2	0.8	78.7
供給単価 (円) -①	194.62	200.69	6.07	195.60
給水原価 (円) -②	311.76	281.48	△30.28	291.26
料金回収率 (%) -①/②	62.4	71.3	8.9	67.2

#### 【用語の解説】

- ・有収率 ～ 有効に使用された水量の割合をみるもので、率は100%に近いほど好ましい。
- ・供給単価 ～ 供給された水1m<sup>3</sup>当たりの売上単価
- ・給水原価 ～ 供給する水1m<sup>3</sup>当たりのコスト
- ・料金回収率 ～ 給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合 (=供給単価÷給水原価)

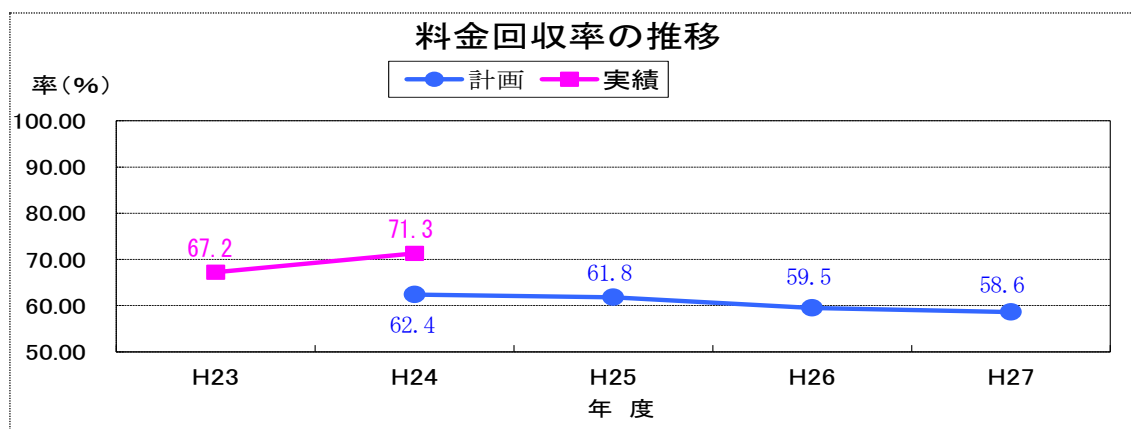
#### (2) 有収率の推移

平成24年度実績では、計画的な老朽管の更新等により、前年度、計画ともに上回りました。



#### (3) 料金回収率の推移

平成24年度実績では、有収水量の増加に伴う給水原価の減少により、前年度、計画ともに上回りました。



## 5 定員管理に関する計画及び給与の適正化に関する実績

### (1) 定員管理

本計画期間内において職員数を段階的に1人削減（H23：3人→H27：2人）することを目標としています。

(単位 人)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	3	3	3	3	2
実績	3	3	-	-	-

### (2) 給与の適正化に関する実績

本計画策定時のとおり、給与の適正化に関しては、廿日市市行政経営改革大綱に準じています。

## 6 主要施策の実施状況

(単位 百万円)

施策名	主な取組内容	平成24年度 事業費
津田簡易水道統合整備	浄水場や配水管等の統合整備	526
吉和簡易水道中央監視設備更新	監視装置の更新	3
宮島簡易水道浄水場整備	多々良浄水場の整備	3
老朽管路・施設の整備更新	老朽化した取水施設や配水管等の更新	20

## 7 経営基盤強化への取組状況

経営改革推進のために、次のような取り組みを実施しました。

- 公的資金補償金免除繰上償還（借り換え）を実施し、企業債償還金の縮減を図りました。

8 経費節減等の取組による効果額

(1) 平成24年度における効果額 9,382千円 (計画額: 7,602千円)

※平成24～24年度の取組による効果の累計額を含む。

- 繰上償還(借り換え)により削減される償還利子額 8,269千円
- 県用水受水の基本水量軽減に伴う受水費削減額 1,113千円

(2) 年度別効果額の推移

(単位 千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
歳入増加の効果額 (差し引き累計) -①	計画	0	0	0	0
	<b>実績</b>	<b>0</b>	-	-	-
歳出削減の効果額 (差し引き累計) -②	計画	7,602	1,113	1,113	13,294
	<b>実績</b>	<b>9,382</b>	-	-	-
効果額の合計額 (①+②)	計画	7,602	1,113	1,113	13,294
	<b>実績</b>	<b>9,382</b>	-	-	-
		<b>効果額計</b>		計画	23,122
				<b>実績</b>	<b>(9,382)</b>

※効果額計の実績額は平成24年度までの累計